

11月末の人口
世帯数 540 世帯
男 659 人
女 663 人
計 1,322 人
(馬路 1,016 人)
(魚梁瀬 306 人)



広報

うまじ

平成5年12月1日発行
第一五四号
編集 馬路村教育委員会
発行 馬路村教育委員会
印刷 安芸タイプ



10月17日(日)馬路地区村民運動会

午後は残念ながら雨の中での競技となりました。
各部落とも一生懸命戦いましたが、大逆転劇をみせた
影部落の優勝で幕を閉じました。

今月のスポット

《10 月》

- 6日 ともだちフォーラム (田野町)
- ミニ・デイサービス (くつろぎの日・馬路)
- 7日 身障者運動会 (東洋町)
- 9日 祖父母運動会 (馬路保育所)
- 10日 第1回山師達人選手権大会 (魚梁瀬)
- 11日 中芸地区子ども会スポーツ大会 (田野町)
- 12日 役場職員採用試験 (就改センター)
- 13日 給食サービス
- 中芸地区中学校秋季体育大会 (安田町)
- 14日 老人体育大会 (田野町)
- はし拳大会 (魚梁瀬)
- 15日 臨時議会
- 16日～17日 熊野神社神祭 (魚梁瀬)
- 17日 村民運動会 (馬路)
- 魚梁瀬中受賞式 (高知営林局)
- 19日 村内小学校交流会 (3～6年生・馬路)
- 村内小学校陸上交換会 (馬路)
- 20日 慰霊祭 (馬路)
- 英会話教室 (魚梁瀬)
- 21日 女性林業士の集い (高知・魚梁瀬)
- 22日 慰霊祭 (魚梁瀬)
- 安芸郡市中学校秋季陸上大会 (芸西)
- 23日～25日 ふるさとまつり
- 24日 村内運動会 (魚梁瀬)
- 26日 学校5日制フォーラム (安芸)
- 26日～11月4日 安芸広域海外研修 (アメリカ)
- 28日 手話教室 (魚梁瀬)
- 29日～31日 柚湯ツアー
- 30日 文化講演会 (就改センター)

《11 月》

- 2日 中芸地区中学校ロードレース (田野町)
- 8日 安芸郡市中学校駅伝大会 (北川村)
- 10日 給食サービス
- 河平家移築入札 (就改センター)
- ジャズダンス教室 (馬路)
- 14日 文化祭 (魚梁瀬)
- 中学校新人野球中芸地区予選 (安田町)
- 15日 中芸の教育を考える会 (田野町)
- 16日 おひとり座公演 (就改センター)
- 17日 ミニ・デイサービス (くつろぎの日・魚梁瀬)
- 村内教育交流会 (魚梁瀬)
- ジャズダンス教室 (魚梁瀬)
- 20日 秋の夜なが・音楽の調べ (コミセン)
- 26日 おしどり介護教室 (交流センター)
- 28日 中芸結いの里祭 (安田)
- 29日～30日 秋季スカッシュ大会 (魚梁瀬)

フォト・フォーカス



10月3日 保・小・中運動会 (馬路)



10月16日 古式弓射式 (魚梁瀬)



11月13日 健康ウォーク



11月19日 村内中学村弁論大会 (馬路)



11月27日 芸能発表会

村内あちらこちら



馬路村社会福祉協議会 新西野会長就任

第44回高知県社会福祉大会 知事表彰



♥ 私たち輝いてます!! ♥

就任のあいさつ

会長 西野寿雄

このたび十月十八日付をもって馬路村社会福祉協議会の会長に就任いたしました。与

えられた天職と思ひ社会福祉事業にかかり、はや五十年が過ぎました。今、過去を振り返りながら急速な動きのみに限られる高齢化社会に生きがいを感じる地域づくりを推進しなければと思っております。



▲左から 清岡令子さん 伊吹衢章さん 西野寿雄さん 岩城佳子さん 國廣安子さん

社会福祉協議会も平成三年に社会福祉法人として新しく発足し、本村の福祉活動の母体として民生児童委員、ボランティア、各種団体等の積極的な活動に支えられながら、住民の幸せを高めるための実践に努めているところです。

本村の老人保健福祉計画も国の『高齢者保健福祉十ヵ年戦略』に基づき定められます。

その計画の中に、保健福祉センターの建設も予定されております。今後、福祉行政推進の核として計画された各種の事業に取り組み、本村の社会福祉発展のため最善の努力をいたす所存でございます。何

とぞ村民の皆さまの格別のご指導を賜りますようお願いし、就任のご挨拶といたします。

被表彰者の紹介

福祉関係者が一堂に会し、現状を直視し将来を展望するなかで総意を結集して、本県社会福祉の一層の推進を期することを目的に、第四十四回高知県社会福祉大会が、去る十一月八日に行われました。その席で社会福祉の発展に多大の功績のあった、四名の方が表彰されました。

高知県知事表彰

◇民生委員・児童委員◇

岩城 佳子（61歳 日浦）

馬路村民生児童委員として十六年七ヵ月間在任され、住民の福祉向上のため、真に奉仕精神をもって尽力されたものです。また、馬路村婦人会、ボランティアグループたんぽぽ会等においても活躍されています。

◇社会福祉事業関係者◇
清岡 令子（59歳 相名）

馬路村保育所に三十二年間在任され、本村の将来を担う子どもたちの育成に、情熱と信念をもって尽力されたものです。また、婦人会等においても活躍されています。

県社会福祉大会長表彰

◇母子相談員◇
國廣 安子（68歳 影）

馬路村母子相談員として、十三年十ヵ月間在任され、地域の母子・寡婦及び父子家庭の相談指導とあらゆる機会において福祉増進に尽力されたものです。また、日赤奉仕団や婦人会等においても活躍されています。

◇民生委員・児童委員◇
伊吹 衢章（56歳 魚梁瀬）

馬路村民生児童委員として十二年十ヵ月間在任され、地域福祉推進のため尽力されたものです。また、社会福祉協議会役員、保護司等として活躍されています。

平成5年度 安芸郡市老人体育大会 中芸地区大会

馬路村チーム 総合優勝!!

去る十月十四日、田野町で開催された平成五年度安芸郡市老人体育大会中芸地区大会において、馬路村チームが見事、総合優勝に輝きました。この大会は、中芸五カ町村の六十歳以上の方々が、各町村ごとのチーム対抗で十三の種目を競技し、得点を争うものです。本村からは、六十一歳から八十六歳までの男性十六名、女性十八名、合計三十三



▶ やったぞ、優勝!!
このなかには見えませんが、
甫木茂さん、清岡千代美さん
も選手として参加されました。

四名の方々が出場されました。
開会式に続いて、競技が開始され、スプリンレース、磯釣り大会...と熱戦が繰り広げられました。馬路村チームは、十三種目中、九種目の一位・

二位を独占。その強さの秘密を探ってみました。

○磯釣り大会...アユ釣りの名人ばかりだ。

○ハシ拳関所破り

...お酒を飲んだらコレ!! お酒もハシ拳も得意。

○ピン倒しリレー

...早い球とねらいのよさ。

こんなふうにしてこれまでのトップだったのですが、最後の種目の対抗リレーでは逆点されるかも...。それに、ヒモのついた浅いザルにボールを乗せて、ボールがザルから出ないように引いていくというちよつと変わったリレーです。優勝を目の前にして、応援する声にも力が入り、ハラハラドキドキ。アンカーが一位でゴールした瞬間、「やったあ。」

一お猿のかごやー
“東川コンビ”なかなか
息が合ってますネ。 ▼



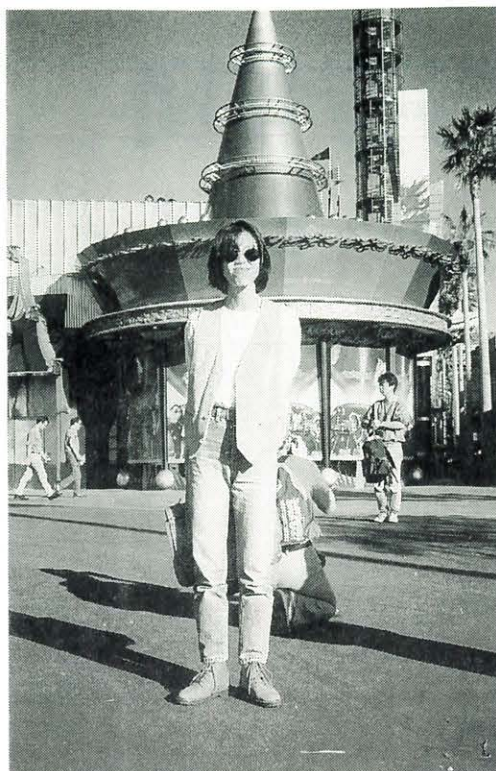
一樽ころがしー ▶
「おーい、後ろが追い
上げてきゆうぞ」
「わかつちゆう。こら
ちゃんとまっすぐ転
がってくれ。」



と大歓声があがりました。
選手のみなさんのチームワークのよさと明るく元気な若さ、総合優勝につながったのではないのでしょうか。
来年も、この優勝カップを
囲んで写真を撮りたいですネ。

『アメリカ研修記』

魚梁瀬 山崎 美穂



〈ロサンゼルス〉
ユニバーサルスタジオにて

も!!)

最初に一言、「もう一回行きたい! ホントに良かった!!」です。

第一にホームステイ。ホストファミリーには、九才を頭に四人の子どもがいたのですが、まあ、どの子もかわいらしくて、よそのファミリーを見ては、「うちの子が一番かわいらしいねえ。」などと、早からうちの子にしてしまっていました。年も、太朗・次朗(私の本当の子)、に近い子がいたので、ついベタベタしてしまいました。(笑) チュ

子ども達は、とてもしゃべりしていて、親との会話も対等って感じです。二才のまだおしめもはずれてないような子でも、寝る時は一人で。うちなんかのように、いつまでもお母ちゃんと寝る、という訳ではないようです。親も子も、それぞれ自分の時間や空間を持っていて、全部子どもに合わすとか、そういう習慣はないようです。

私達とのサヨナラパーティーの時も、二才の子は、近所の

小学生をしっかりとベビーシッターに雇って、パーティー会場で子守ばかりしていた、というような事はありませんでした。

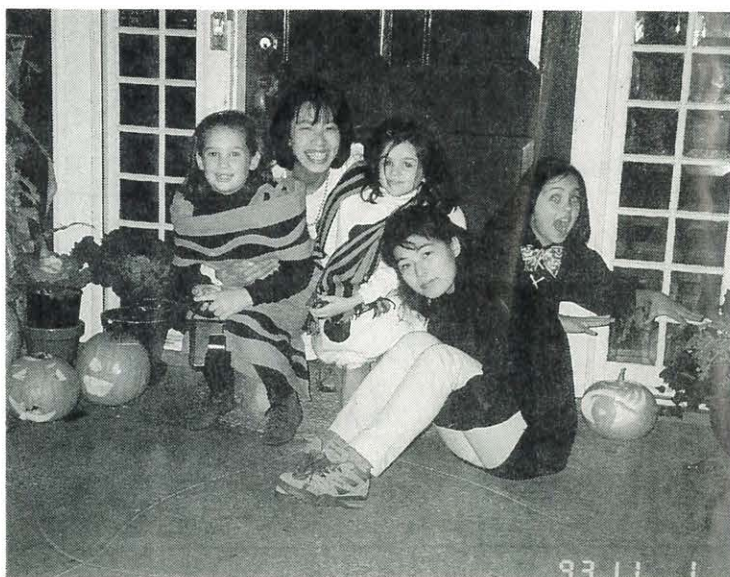
ちょっとうらやましい気がします。丸二日間、その家にいたのですが、はっきり言って、会話らしい会話はありませんでした。

自己紹介、あいさつ、「コーヒー飲みませんか?」ぐらいはできても、ちょっと進ん

だ内容になってくると、なかなかわからなくて、結局、簡単な事ばかりの会話です。

けれど、その身ぶりや、顔つきを見れば、話の内容がどうこうという事よりも、彼女達のその時の気持ちがよく分かって、とりあえずはこれで充分ではないかと自分なりに満足しています。

「これしか弾けん」というイエスタデイをピアノで弾くと、ちゃんと歌ってくれたし、お別れの時は、お互い泣



ハロウィンの前夜
ティーズ・ゼイルさんの家族といっしょに

きそうになって...、(もつと一緒におりたい)と心から思いました。

別れる時には、つらいものがありましたが、ホームステイができて、本当に良かったです。

研修の方は、四ヶ所ほどまわったのですが、まとめて言うところ、「行政は、住民と企業とのクッションの役目をしなくてはならない。その為にはボランティアというものも必要だ。」(通訳さんがうまいことまとめてくれました。)

「こととめてくれませんでした。」という事だと思えます。

最後に、帰りの機内での事です。が、(ホームステイもしたし、外国の方にも慣れたので、お飲み物はいかがですか?)という受け答えぐらいは平気やね)と思っていたのに、私が「コーヒー、ブリーズ。」と言ったのに対し、思いっきりコーラが出てきた時はやっぱり十日ばあではいかにもんやなあと、次回の英会話教室には絶対参加するぞと、心に決めたのでした。

おわり

馬路村青年団 交流会へ行く



九月下旬、大川村から、謝肉祭の前夜祭として、各町村との交流会を行うので、参加してほしいと案内がきた。その後、馬路青年団で話し合った結果、是非みんなで行こう（肉が目的）ということになった。

十一月二日、午後五時就業改善センター前に集合。総勢十四名が各車に分れて出発。長い長い道のりの末、大川村の明りが見えてきたが、人口が少ないせいか、明りはちらほらとほのかに灯っているだけで、さみしい事、さみしい事。

やつのことで、交流会会場である、白滝鉦山に着くと、パツとした照明の明りと共に各青年団の人々が、焼き肉のおいといっしょに、目にとびこんできた。

大川村の熱い歓迎を受けた。そして炭火を取り囲むように座ると、早速、焼き肉とビールの嵐だった。食べきれなくなるまでごちそうになった後、各自、席を替って各青年団との交流を図った。

今回参加のあった青年団は大川村、安芸市そして愛媛県からの川辺村、野村町、新宮村と馬路村の六町村であった。交流では、ゲームをしたり意外と話が合ったりして、大



五味 里加

変な盛り上がりとなり、十分な交流会となった。

今回の交流会に参加して、馬路青年団でも、村内で他の青年団との交流の場を持って積極的に知識や視野を広げたいと思った。

大川村は、今回が初めてでしたが、予想外に遠くて、曲がりくねった道のりに驚きました。

謝肉祭の前夜祭には、県内外から青年団が集まり、夜遅くまで大川村の山のとつぺんを賑わせました。黒牛というたいへん美味しいお肉を、贅沢なほどたくさん食べることができて、すごく幸せでした。

また、次の日の朝は、山々の紅葉の美しさに見とれてしまいました。

馬路村より小さな村ですが、ほのぼのとしたいい村だと思いました。

清岡 隆

大川村とは三年前に一度、謝肉祭を通じて交流した事があるが、村自体人口が少なく、また地域も山の中で交通の便が悪いという事で、とても馬路と身近さを持っていた。

馬路青年団との交流は、今年の夏に大川村青年団を招いた事がきっかけで、今回の大川村を訪れての交流となった。

前夜祭を通して、一年間の交流を振り返ってみると、同じ過疎地域という事もある、かなり共通する問題点があり、今後青年団同志だけでなく、村同志が交流を持っていけばよいのではないかと感じた。

木下 彰二

大川村迄の長い道のり、途中のアクシデント（交通事故目撃）にもめげず、着いたのは八時を過ぎていた。

人口約七百人というだけあって、家の明りもちらほらしか見えず、人の気配すら感じなかったのに、会場につくなり賑やかな声がし、ホッとした。

すでに前夜祭は異様に盛り上がり、馬路青年団はちよつと出遅れたという感じだったが、今日のメインである黒牛肉は、しっかりと頂いた。又、交流会では話も弾みゲーム等楽しいひとときでした。

今回参加して、団員が少ないうえに活動している所もあり、最近停滞気味の馬路には、いい刺激になったと思います。

尾崎 恭子



遠い、ほんとに遠い。乗っている私達でさえ疲れたので、運転手はさぞかし疲れた事と思う。

行く途中で事故の人を見、「肉は食べれん！」と言いつつ、事故の事はすっかり忘れすっかり食べてしまった。

他県の青年団との交流もあり、色々な近況報告も聞く事もできました。

宿舎では、隣の部屋のどんな騒ぎで寝不足でしたが、又の機会の交流会があれば、参加したいと思います。

岩城美由姫

みてみて／わたしのおいも
▼ いっぱいあるでしょう!?



おいもほりに行ったよ。 ▲
やなせのお友達もいっしょに
みい〜んなで行ったね。
おっきいおいもがいっぱいあったよ。
どろんこになってほったね。
とっても楽しかったね。

いもほり

焼いも パーティ



今日は待ちに待った焼いもパーティ。
保育園の庭のたき火の中で、おいもがおいしそ
うに焼けています。
「おいもの食べ方はいろいろあるけど、やっぱ
り焼いもが一番やね。」と美香先生。
「ギヤー／まっ黄い黄い。」と、アツアツのおい
ものの皮をはぎながら、うれしそうな声の則子先生。
「わあー！おいしそうなねえ。みんないっぱい
食べてね。」と佳子先生。
最初から最後まで、バクバク食べていた太朗く
ん。
だまってひたすら、モグモグ食べていたまなみ
ちゃん。
飛び入りでごちそうになったおばちゃんの顔を
のぞきこんで、「フー／フーいよ。」と教えてくれ
たしほちゃん。
たき火の煙が目にしみるのもなんのその。楽し
い焼いもパーティは大にぎわい。
ホクホク、アツアツのおいもで、みんなの心も
体もホカホカになりました。



第一回山師達人選手権大会

「この魚梁瀬杉の産地で、記念すべく第一回山師達人選手権大会の開会を宣言します。」

大会実行委員長である馬路林業青年クラブの小松博会長が、高らかに宣言を行い、とまどいと緊張の中で、いよいよ開会となりました。

「ボクの写真も載せちゃう言うたやいか。」

そうそう、選手宣誓は、十人チーム、四十二人の参加者を代表して、足は脚絆巻きで、腰へ敷皮をつけ、杣鋸をかざしての堂々の乾準治君です。



絵に書いたような青空のもと、号砲一発最初の種目は、直径三〇cmの杉丸太を三人リレーで挽く、『木挽き競争』です。

現職の営林署作業員でチームを固めた「魚梁瀬消防」、「魚梁瀬おんちゃん」両チームは順調に一人が三分程度で

次々と挽き落としていきます。

「ありや、どうしたア。」

「森林組合」、「神楽会」はまだ第一番目の人が汗をしたたせながら、あちちから挽いたり、こっちから挽いたり、十分たつても悪戦苦闘。大工さんチームの「乾組」も十二分で挽き終え、五番目でゴール。結局制限時間の十五分でしまいがついたのは、五チームだけとなり、他の九チームは得点が0となって、開始早々から、先行きが心配されま

す。

第二種目めは、重さ十五kgの角材を遠くへ投げ飛ばし、三人の合計到達距離を競うものです。ここでは各チーム共に健闘。やはり柱をあつかひなれた「乾組」が第一位を獲得し、前半二種目の合計でも「魚梁瀬消防」の二十六点に次いで二十四点と、第二位に順位を上げました。

「木挽き競争」で0点に終わった「神楽会」も奪起して第二位十三点、同じく「馬路林研」も十一点を確保しています。

「魚梁瀬おんちゃん」は第九位とふるわず、「安芸市林研B」にも抜かれて、第四位へ

後退。

ここで昼食。

午後、第三種目めは、山から伐り出したそのまゝの姿で会場に立てられている、元径二〇cmの杉の木に上り、六mの所へさしてある旗を取ってくる、名づけて『杉の実取り競争』です。

これは一チーム三人のうち二人がリレーで登れば良いのです。「神楽会」第一走者の清岡隆君は、長身と足のバネを活かして、さっそうと第二走者へバトンタッチ。

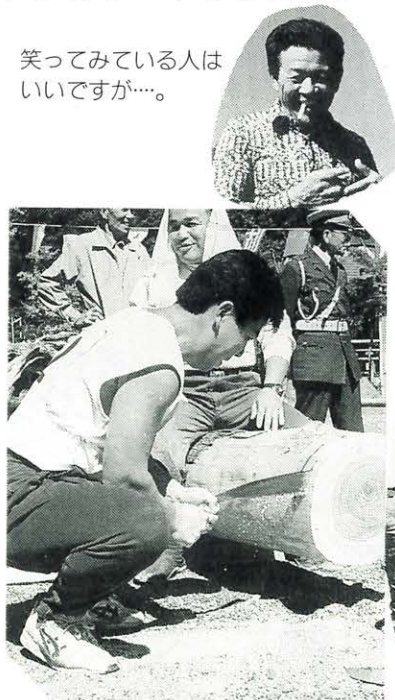
この競技でも「乾組」は強さを発揮。久保兄弟がゆうゆうと五十秒足らずでゴール。「準治にばかりえい格好をさせられるか」とばかりに、晴天でも、スゲ養を着込んだ山崎容臣さんも、山崎雅朗コンビで快調に二着でゴール。

続いて東谷課長を先峰にお願いした「ごつくん馬路村」、意外や準治君頑張り、「馬路林研」と入ります。

杉の実取り競争



笑っている人はいいですが…。



あれあれ、後のチームが続かない。

「神楽会」の中屋君。どうしたか、立木に腕を巻きつけ、足をからめて、伸びたり縮んだり。隣を見れば五藤君。その向こうには「森林」チームの興徳君も同じ、二〇cm上つて三〇cm下がっている。

結局、制限時間の十分間内にゴールしたのは、四チームだけという厳しい結果。

いよいよ予選最終種目は、二本の丸太にロープをかけて、

一人が一〇mずつ引っぱり、時間を競う『人間戦馬競争』です。重さは合わせて一二〇kgほど。ここでも「乾組」は強く、圧倒的な力で第一位。

「馬路林研」「安芸市林研B」「役場」チームが続きます。以上で予選終了。四種目中三種目を制した「乾組」が五二点でなんと第一一位。二位はベテランの力を遺憾無く発揮した「魚梁瀬おんちゃん」

三位は「馬路林研」の猛追撃をからくも一点差で振り切った「魚梁瀬消防」が入り、この上位三チームで、この大会のハイラ

イトである『杣達人競争』が競われます。

これは『杉の実取り競争』に使われた、全長十三mの杉の木を見事、指定された十m先のポイントへ倒せれるか。その正確さを競うものです。ノコギリと手斧、楔を使います。

ここでは現職組の力を存分に活かした「魚梁瀬消防」が誤差二五cmで「魚梁瀬おんちゃん」の一〇五cmをかわし、第二位を確保する。「乾組」は六一cmで堂々の第一回山師達人選手権大会の総合優勝に輝きました。

一位賞金五万円、二位賞金三万円、三位賞金二万円と記念トロフィーがそれぞれ贈られました。

慰労会でのひとコマ。

「ありやいかんぞ。おららのノコはひとつもすつちやらんがじゃった。木も節くれだつちよつたしねや。」

「あの立てちやつあながもいかなあや。前の晩にあれらあが昇るけいこを、たいてしよつたきに皮がズルズルしよつたもの。」

「なんなや、おんしゃ。けいこの時はえらそう言うちよいて。ひとつもよう昇らざつたじゃいか。」

おしまい

「西川禎一おひとり座」

公演を終えて

—岩 城 未知子—



子ども達の笑顔、笑い声がうれしくて…。

「秀れた創造は秀れた普及をうみ、秀れた普及は秀れた創造を育てる」というポリシーのもとに、人生の各駅停車の旅にも似た人形芝居の活動を、四十年近くも続けていいる西川さん。さてさてどんな人なのかと思っていいたら、一見、何処にでもいるようなおじさん。だが背筋はしゃんと伸びて、どこかに青年のような若々しさが残っている。もう還暦が近いとご本人はおっしゃっているが、なかなかそんな風には見えない。

その語り口は切れのいい落語調で、そして何よりも関西弁が小気味よい。

今回、教育委員会の協賛を得て、馬路PTAの事業として取り組んだこの公演。チラシの作成も、チケットの作成

も素人の会員の仕事。町のコンサートのような気の利いた物は出来上がらない。

それでも何とか形らしいのが出来、学校を中心にしてチラシの配布。そしてPTA会員が手分けしてのチケット販売戦線。百枚ぐらいいは売れるかな？という心配をよそに、皆さん本当によく頑張ってくれて売上状況は、予想をはるかに上回った。

さて、当日会場となった就改センター二階ホールは、二百人近い観客で埋め尽くした。山村の小さな地域ならではの、舞台と客席が一体となったワンフロアーでの公演、まるで全席S席といった具合である。

最初の出し物「ねずみのすもう」の芝居も盛り上がりを見せ始め、子ども達の席からは、盛んに歓声や笑い声が聞こえ始めたその時、一番前列に座っていた一人の小さな女の子が立ち上がり、後方にいる母親の方を振り返り、

「お母さん、おもしろい？」と興奮した様子で叫んだのだ。

その声は、演じていた西川さんには、聞こえていなかったかもしれないが、私の周辺の母親席では感嘆の笑い声で一瞬どよめいた。何て素晴らしい一コマなんだろう。おそろく女の子は、自分が見ている

お芝居をこの上もなくおもしろいと感じ、そしてこんな自分の楽しさ、この感動を母親も共に同じように感じているのだろうか？と気遣い、又感じてほしいという願いから、本態的に、咄嗟に出た叫びだったに違いない。

何という得難い感受性なんだろう。残念ながら私の三人の娘や息子たちは、すでにこの純粋な年齢を脱してしまつて、今は突っ張りまっしぐらの青春時代である。とても懐かしい想いがこみあげてきて、一瞬の出来事ではあったが、実に微笑ましい光景を見たような気がしてならない。

この夜、子ども達の屈託のない笑い声を聞きながら、本物の芸術、民話の世界という小さな文化に触れ、溶け込む事によって、子ども達の感性を少しでも養えたのなら、この公演を手伝った一人として、喜ばしい限りだと思った。

唯、少し観客としてのマナーとか問題点が残らないこともないが、それは次の機会への課題とすることにして、この日の小さな観客者たちは、西川さんの言わんとするところの、秀れた普及者になり得たのだろうか？、思いを巡らしながら秋の夜長を家路についた。

教育交流会&陸上交歓会

日頃ふれあう機会の少ない魚梁瀬小、馬路小の子ども達が楽しく交流しました。

「馬路の学校にずっとおりたいです」

十月十九日（火）は、馬路小で交流学习と陸上交歓会がありました。みんなすぐに馬路の小ども達とうちとけて、帰りには手紙のやりとりなどの約束をしていました。

交流学习で友だちをつくり、陸上交歓会で全力を使い果たした子どもたち。二十日の日記の中には、前記のような一文もありました。

帰りのバスの中で見た、満足感に満ちた子どもたちの寝顔がとっても印象的でした。

「おもしろかった」

「こうりゆう学習」

三年 山下あい

こうりゆう学習をするまえは、どきどきしました。

たくさん人がいたのでみんな三年生かなと思いました。

一時間目にさいしよじこしよかいをしてゲームをしました。

となりのせきのさやかちゃんが一番さいしよにお友だちになりました。そしたらまえお友だちになっていたさっちゃんにもあいました。

二時間目は、算数で重さのべんきょうをしました。

三、四時間目は、体育でたいそうをしてから赤、白でポートボールをしたのしかつ



みんなで楽しくゲーム。



給食の時間「いただきまあ〜す。」

たです。それからそにてでサッカーとドッチボールをしました。

それからきゆう食を食べて昼休みにゆきこちゃんとおそびました。

りくじょうを見学しに行きました。

わたしは、ゆき子ちゃんについていつて手をつなぎました。

それで、たかとびを見ました。

それとさいごにリレーを見ました。

教室にもどつてにもつをもつてバスに乗るとゆき子ちゃんやさやかちゃん、もよ子ちゃんがでんわばんごうとかききにきました。

それからわたしもでんわばん

んごうをきました。それから、バスに乗ってやなせへ帰りました。

お友だちもできたしなかなくなれたからおもしろかったです。

でんわばんごうをきいていたのででんわをかけてお話をしました。

こうりゆう学習は、たのしかったです。

「友だちいっぱい」

四年 岡林有可

「いちについて、よいい。」

「ドカン」

みんないっせいに、スタートした。せんメートル走をはした。ぬいたりぬかれたりだった。いぬい先生が、「ついていけ！」

とどなった。さいごの一しゅ

うで、一人ぬいた。ゴールした時、四ばんだった。

とどちが二十人以上できた。とくに、わたしといっしょに走った、あやちゃんがやさしかった。わたしがえるとき、あかりちゃんや、まきちゃんや、あやちゃんがでんわばんごうとか、じゅうしよ

をくれた。一時間目は、とどちじやなかったけれど、きゆうに友だちになった。みんなやさしかった。走っているときも、高とびをしていても

みんな、だれがふとっているとか、学校のせつめいをしてあそんでいました。

魚梁瀬小三、四年学級通信

「どんまい」より

陸上交歓会

男子(五・六年)

◇50m走	一位 岡林 広太	7秒5
◇100m走	一位 谷井 領太	13秒9
◇走幅跳	一位 谷井 領太	4m72
◇走高跳	一位 上治 郷平	1m25
◇ソフトボール投げ	一位 谷井 領太	59m10
◇1000m	一位 上治 郷平	1分35秒4
◇60mハードル	一位 上治 郷平	10秒9
◇100m走	一位 谷井 領太	10秒9
◇走幅跳	一位 谷井 領太	15秒8
◇走高跳	一位 谷井 領太	3m54
◇走高跳	一位 牛窓 義尉	1m05

女子(五・六年)

◇ソフトボール投げ	一位 岩城 貴則	27m
◇400mリレー	一位 馬路 光	4分4秒
◇50m走	一位 岡田みちる	8秒4
◇100m走	一位 山中 樹	15秒6
◇走幅跳	一位 山中 樹	3m99
◇走高跳	一位 山中 樹	1m20
◇ソフトボール投げ	一位 井上 恵理	29m50
◇1000m	一位 山中 樹	4分1秒3
◇60mハードル	一位 山中 樹	11秒1
◇400mリレー	一位 馬路A	1分5秒9
◇50m走	一位 甫木 理乃	8秒7
◇100m走	一位 甫木 理乃	17秒2
◇走幅跳	一位 甫木 理乃	3m01
◇走高跳	一位 山中 綾	95cm
◇ソフトボール投げ	一位 大崎 智恵	19m70
◇1000m	一位 岡林 有可	4分16秒



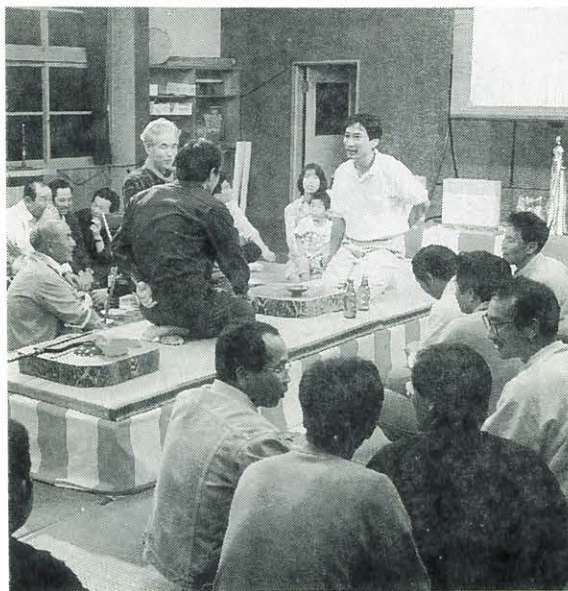
走り幅跳びの門脇裕司君



魚梁瀬地区はし拳大会

十月十四日(木)に恒例の、魚梁瀬地区はし拳大会が行なわれた。参加チームは馬路からの二チームを含め、合計十七チームで拳の腕を振った。

結果は団体は拳友会(川本文雄・笹岡昌澄・畠中静穂)が魚梁瀬婦人会を破って初優勝。個人の部では山崎雅朗さんが初優勝を飾った。



「いらっしやい!」
「えいかよ。いくぜよ。」
3本みつよ!!

魚梁瀬地区村民運動会

平成五年度魚梁瀬地区村民運動会が、十月二十四日(日)に魚梁瀬小・中グラウンドで行なわれました。

この日は秋晴れの晴天に恵まれ、リレー競技や綱引きなどの対抗競技に熱戦がくり広げられました。

また、いろいろな趣向を凝らした応援合戦などがくり広げられ、スポーツの秋にふさわしい一日となりました。

結果は次のとおりです。

優勝 丸山チーム(2連覇)
二位 営林署・学校連合チーム
三位 事業所チーム

陸上競技大会

中芸地区中学校

秋季体育大会

十月十三日 安田町

男子

100m (一年)	一位 近藤 稔 12秒5
100m (二年)	一位 坂本 憲哉 13秒8
100m (三年)	一位 坂本 誠 12秒6
200m (二年)	二位 五百蔵道世 26秒4
200m (三年)	一位 坂本 誠 26秒2
1500m (一年)	一位 内原 直人 29秒8
1500m (二年)	一位 門脇 啓 5分34秒3
1500m (三年)	一位 甫木 誠也 5分36秒3
3000m (二年)	一位 東谷 庸生 11分15秒4
3000m (三年)	一位 岡林 広育 11分22秒0
5000m	一位 井上 真共 10分50秒7
800m	一位 五百蔵道也 2分26秒9
走幅跳 (J)	

女子

100m (一年)	一位 近藤 稔 4m74
100m (二年)	一位 門脇 啓 4m58
100m (三年)	一位 五百蔵道世 4m97
200m (一年)	一位 門脇 啓 1m30
200m (二年)	一位 馬路 啓 1分54秒8
200m (三年)	一位 坂本・岡林・坂本・山中 1分57秒3
400m (一年)	一位 近藤・五百蔵・内原 1分57秒3
400m (二年)	一位 岩城 朝子 14秒7
400m (三年)	一位 大崎 圭子 15秒5
800m (一年)	一位 山中 麗 15秒3
800m (二年)	一位 近藤 由美 15秒0
800m (三年)	一位 岩城 朝子 31秒4
1500m (一年)	一位 大崎 圭子 32秒4
1500m (二年)	一位 山中 麗 33秒0
1500m (三年)	一位 近藤 由美 32秒8
3000m	一位 北村 紫織 33秒1
5000m	一位 井手野礼奈 5分43秒1
走幅跳 (J)	
走幅跳 (B)	

安芸郡市中学校

秋季陸上大会

十月二十二日 芸西村

男子

100m (一年)	一位 近藤 稔 12秒5
100m (二年)	一位 坂本 誠 26秒5
100m (三年)	一位 近藤 稔 4m87
200m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
200m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
200m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
400m (一年)	一位 大崎 圭子 31秒9
400m (二年)	一位 近藤 由美 8m85
400m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
800m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
800m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
800m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
1500m (一年)	一位 大崎 圭子 31秒9
1500m (二年)	一位 近藤 由美 8m85
1500m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
3000m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
3000m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
3000m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
5000m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
5000m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
5000m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
8000m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
8000m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
8000m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
15000m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
15000m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
15000m (三年)	一位 近藤 由美 8m85
30000m (一年)	一位 岩城 朝子 15秒0
30000m (二年)	一位 大崎 圭子 31秒9
30000m (三年)	一位 近藤 由美 8m85

中芸地区中学校

ロードレース大会

が、田野町において行なわれ
ました。

村内中学生の主な結果は、
次のとおりです。

(十位以内入賞)

馬路村寒蘭品評会



あまい香りいっぱいの展示室

優勝の式部佐由里さん



本年度の馬路村寒蘭品評会
は十一月十四日に文化祭会場
(魚梁瀬小)で行なわれまし
た。

七十二鉢の出品により、そ
の容姿が競われました。
入賞された方々は次のとお
りです。

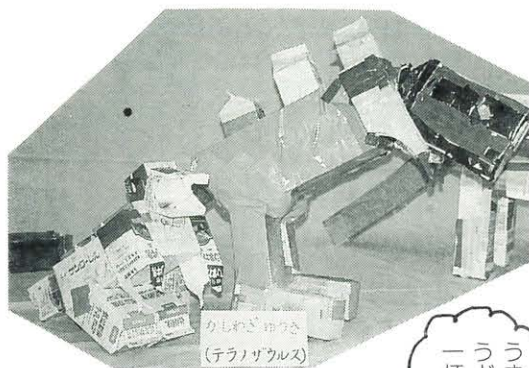
総合優勝 式部佐由里
赤花の部
一位 式部佐由里
二位 小松 良重
三位 岩城 圓

青花の部
一位 小松 良重
二位 式部佐由里
三位 小松 良重
更紗の部
一位 小松 良重
二位 岩城 安夫
三位 吉岡 聡摩
銘品の部
一位 小松 良重
二位 小松 良重
三位 式部佐由里



「これはねえ、新聞のカモシカをみてはったぞね。」
「えらいねや、わしゃようせんぞ。」

かわい
い
き
よ
う
り
ゆ
う
君。



う
ま
い
な
あ
う
ど
ん
も
う
一
杯
や
る
か
!?



第二十一回馬路村文化祭
が、十一月十四日(日)魚梁瀬
体育館で開催されました。
安田川・橋のある風景写真コン
テスト入選作品をはじめ、たく
さんの作品が展示されました。

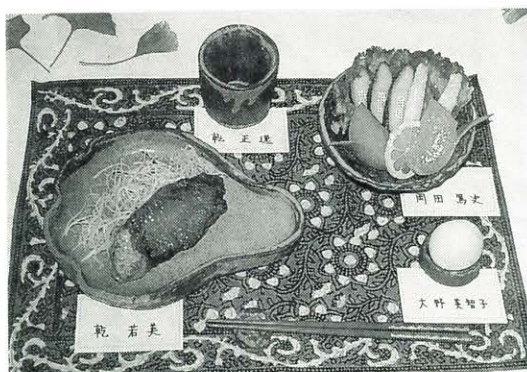


こねもってふれあい事業の作品もおいしそうに(!?)
展示されてます。▼



上 治 萌 子
↑
ムムツ これはなんだあ。

見て見て
お母さん
私の絵!



▶ パッチワークや袋等
たくさんの手芸品が
展示されて…。



馬路村の歴史と伝説



〈通算第48回〉

馬路村の年中行事 (2)

馬路公民館長 山中 巖

正月の準備 取初め様

父が在世中は父まかせでありましたが、父が亡くなると私の仕事となりました。取初め様の準備は戸主の仕事です。

まず洗い清めた三方に白米一升を入れます。その上にひらいた大きな蕪を載せ、その蕪の中央に枝ぶりの良い松の小枝をさします。白米の上に切り餅、三方の四隅に吊柿を一個ずつ置きます。また昆布、ジャコ等をあしらって置きます。松の小枝の周囲に一文銭を二十個乃至三十個紐でとおして輪にしたものを置きます。できあがると神床に供えます。お酒も添えておきます。

家の神々を祭る

ご先祖様、天照皇大神宮様などをお祭りした神床に三重ねの餅と神酒を供えます。それから若宮様、庄屋の先祖様（実は庄屋が馬路を去る時、

この祠は私の家の先祖様だから、末長くお祭りをしてほしいと言って去って行きました。中を開けてみますと写真が入っています。現在では、姿形がはっきりせず判明しがたい状況です。

その際、庄屋家に伝わっていた鎧をいただきました。現在も家宝として大切に保存をしています。

話しが少しそれましたが、そのほか、出雲大社様、金比羅様、多賀神社様、熊野神社様ほかの神々へ小餅と神酒を供えます。

また天井から吊した台の上へお正月様をお迎えてお祭りします。

また小餅は、部屋の東西の棚、お釜様、水神様、倉、便所などへもお供えします。またそれぞれの神々にお灯明をとします。

おせち料理

大晦日から元日にかけて食

べる料理を「オセチ」といいます。私の家では、ゴボウ、切干大根、人参、豆腐、コンニャク、里芋、豆類、数の子などです。そして神棚や門松などへもお供えします。牛を飼っていた時代には、白飯やおせち料理を与えました。なお現在では、子供や孫たちが集まってきましたので、寿司、肉類、刺身などの料理も準備します。

おつもの晩

大晦日には、イロリやクドの掃除をしました。そしてイロリやクドで焚く日は神聖視されました。オツモの晩から正月にかけて焚く薪(樗の木)は辛木または福木の名で呼ばれました。四隅に樗の木をくべ、中央で「コウノ木」を焚きました。

「オツモの晩は早く寝てはいけない。遅くまで起きていると天からカネが降ってくる。」

父はいつも口ぐせにこんな話をしました。そして昔話から次へと続くのでした。

家族はイロリの火を囲みながら夜遅くまで談笑したのでした。

また「オツモの火は消すものではない。」と言って、辛木の火を灰に埋めて火種を絶やさないようにしたものです。

そして元日の火種としたのです。

尚、先に記しましたように私の家では、オツモの晩は、母家へ子供や孫たちが集まったり、NHKの紅白歌合戦を観たり、カルタや世間話、昔話などが遅くまで続きます。年明けと共に、熊野神社、お薬師様へ初詣をします。

恵方参り

さて「恵方参り」について少し述べてみたいと思います。

その年に年神が宿る方向は良い方向といわれ、その方向を「恵方」といいます。「恵方」の方向に向かってゆくと、福が与えられるといわれています。

初詣は、もともと「恵方参り」に由来するもので、その年の恵方にあたる神仏に参詣して、家内安全、五穀豊じょうを祈るものであります。現在では、恵方の感覚がなくなり、有名神社に参詣するのが恒例になりました。

馬路俳壇

清子

髪染める手に秋日さす

この平安
犬病みて余命いくばく

秋の星

雅子

敬老会背筋のばして紅つけて
敬老会同級生の四人とは

喜美栄

武家屋敷長屋門内花蘇鉄
臥待に照らされて立つ金鈴堂

うた子

山風に咲くコスモスの
かなしさよ

十六夜の空晴れわたり

月清し

返り花老いたればこそ

百合子

家主来る屋根の繕い柿も採り

昏れ初めし刈田の畦に

一美

稲架竹の長きを継ぎて

鎌さがす

掛け急ぐ

千鶴子

忠魂碑へよぼつく妻や

菊供う

寄り合いにちよつとスブレー

善心

盆終えてどつと疲れの

出るもろさ

老い先の話しさみしく

萩の里

柚子とりて温泉たのしむ

浪江

廃屋の中に一灯冬灯

おらが村

夕日に立つ遠まなざしの

親子鹿

炎天や干竿売りの長き顔

赤ちゃん万歳!!



ゆうと
松本 有人 君
平成5年5月18日生(影)
松本 隆夫 喜江 さんの二男です

はじめまして「ゆうと」です。ただ今、寝返りの真っ最中。ちよっぴり太めなので、いつもお母さんにおしりをつかれていたら、いつのまにか上手にできるようになりました。毎日、お兄ちゃんにきたえられています。早く一緒に外で遊べるようになるといいな。

体も大きいけど、泣き声も大きくて、毎日お母さんを困らせています。こんなボクですが、どうぞヨロシク。



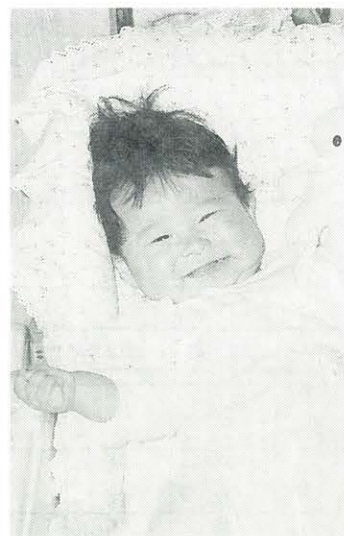
おうぎ
小松 扇 君
平成5年5月22日生(影)
小松 寛史 久美 さんの長男です

はくの名前は「おうぎ」です。「うちわ」ではありません。はくの得意わざは、ブリッ

こんにちは。岩城梓です。私はお父さんと一緒にの六月生まれです。この頃、「お父さんによく似てるね」と言われます。

いつもは緑おばあさんと一緒に、家のコイを見たり、暖かい日には散歩に行ったりします。最近「梓は重たくなつて、おうた方がえい」と言われます。

早く大きくなって、歩いて緑おばあさんと散歩に行きたいな。



あずさ
岩城 梓 ちゃん
平成5年6月20日生(東川)
岩城 和登 香奈美 さんの長女です



ひろあき
西山 大夢 君
平成5年6月30日生(影)
西山 榮二 佐和子 さんの長男です

はじめまして、はくは「ひろむ」です。『名は体を表す』とはよく言ったもので、名前

今、はくは「ひろむ」として語り合っているところなんです。皆さん、末永くよろしくね。

の通り、丈夫い体で周囲の愛情に包まれて、すくすくと育っています。

はくはどうも雨男らしく、生まれた時も一ヶ月検診も百日目も、とにかく節目には必ず雨が降って、その後カラリと晴れます。二十数年後のはくの結婚式にも、きっと雨が降るんだろうな。

今は扇君と柚湯ツアーの申し子同志、馬路の将来について語り合っているところなんです。皆さん、末永くよろしくね。

ごめい福をお祈りします

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
乾 エミ子	女	73	5・9・30	正男	妻	東川
内原 静美	女	86	5・10・29	繁	母	影
井上 重子	女	78	5・11・10	順一	母	日浦
乾 利夫	男	57	5・11・15	利夫	本人	朝日出

12月・1月の予定表

月 日	12月	月 日	1月
1	水 ジャズダンス教室（魚梁瀬）	1	土 元日 体育始（魚梁瀬） 謡の口開け（金林寺）
2	木	2	日 体育始（馬路） 成人式（就改センター）
3	金 はし拳大会（馬路）	3	月
4	土 高知県障害の日の集い（高知） 熊野神社神祭（馬路） 神輿	4	火 御用始
5	日 神楽・すもう	5	水 商工会福引
6	月	6	木 消防出初式
7	火	7	金
8	水 給食サービス（会食制）	8	土
9	木	9	日
10	金 人権の主張発表会（安芸市） 社協・民協連絡会	10	月 小・中学校始業式
11	土	11	火
12	日	12	水 給食サービス
13	月	13	木
14	火	14	金
15	水 おもちつき（魚梁瀬保育園）	15	土 成人の日
16	木	16	日
17	金 おもちつき（馬路保育園） おしどり介護教室（交流センター）	17	月
18	土 校内マラソン大会（馬小）	18	火
19	日 安芸郡母子父子家庭クリスマスの集い（芸西）	19	水
20	月 おかいものごっこ（魚梁瀬保育園）	20	木
21	火	21	金
22	水 巡回図書	22	土 村民駅伝競走大会
23	木 天皇誕生日	23	日
24	金 小・中学校終業式 クリスマス会（保育園） ふれ愛餅つき（就改） 長寿祝金お届け日	24	月
25	土 クリスマス発表会（馬路保育園）	25	火 乳児検診 スポーツテスト（小学生）
26	日	26	水 巡回図書
27	月 村内保育終了日	27	木
28	火 御用納 ↑土佐女子高校バレー部合宿（公民館・交流センター・1月3日まで）	28	金
29	水	29	土
30	木	30	日
31	金	31	月

年末・年始における診療所及び清掃業務のお知らせ

		12/27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
診療所	午前	馬路	馬路				休診			馬路	魚梁瀬
	午後	魚梁瀬	休診							休診	馬路
清掃業務		馬路	魚梁瀬	馬路	魚梁瀬	馬路	休	休	休	馬路	魚梁瀬